

就任の挨拶

海江田健司会長・中野広行幹事

海江田 健司会長

2019年7月入会后、丸5年経過したところでの会長就任です。ロータリアンとしては歴の浅い中での会長就任となりますので、いろいろと不勉強な部分があるかと思えます。そこも踏まえて、この1年間頑張っていく中で自分自身成長できればと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

簡単に自分のプロフィールです。

誕生～学生時代

- 1969年 鹿児島県鹿児島市にて誕生
- 1988年 鹿児島県加治木高等学校 卒業
先輩 山下憲男会員
先輩 中野広行会員
- 1988年 青山学院大学経営学部 入学
- 1992年 青山学院大学経営学部 卒業
株式会社服部セイコー 入社

社会人時代①

- 1992年 株式会社服部セイコー 入社
- 1997年 セイコー株式会社に改称
長野オリンピック タイミングチーム
S-YARADに携わる
- 2008年 SEIKOを退職しソニー生命へ

社会人時代②〔ソニー生命〕

- 2012年 MDRT 初登録
基本理念→社会貢献
- 2021年 MDRT 終身会員
- 2022年 COT 初登録

ソニー生命に転職してから16年目になります。「2012年MDRT初登録」とありますが、MDRTとは、簡単にわかりやすくお伝えすると、全世界の保健営業のTOP5%を登録する会というもので、本部はロータリーと同じくアメリカにあり1927年からスタートしております。MDRTの基本理念の中の最も重要なものが社会貢献で、MDRTの活動をする中で私自身も社会貢献というものも前職時代から色々していました。国内主体にはなりますが、震災の後のボランティア活動等、そういったものを通じて社会貢献を、実際自分の身体でもって実施をしていました。そういう社会奉仕活動、社会貢献というところの活動をしている中、また私の父が鹿児島西

RCで長年ロータリアンとして活動していてロータリーのこと色々聞いていたところに、大先輩である山下さんからご紹介をいただきお茶の水RCに2019年に入会をさせていただきました。

ロータリー活動について

- 2019年7月 東京お茶の水RC入会
- 2021年7月 西村会長のもと幹事就任
- 2022年7月 地区ローターアクト委員
- 2023年7月 地区公共イメージ委員
- 2024年7月 会長就任

2019年7月に入会、2年経ったところで西村会長のもと幹事になり、非常に貴重な経験をさせていただきました。入会して半年足らずでコロナ禍になり、通常とは異なったロータリー活動のもとではありましたが、様々な地区の任務を経験させていただくことになり、今回会長就任となりました。

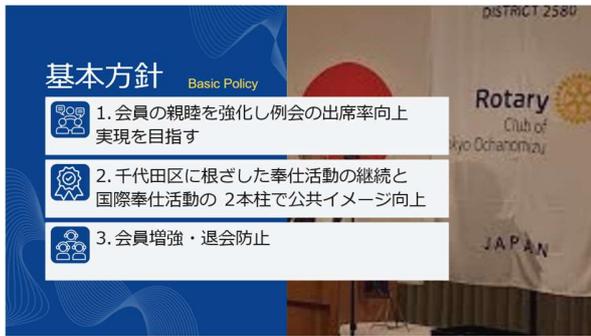


この1年間会長としてどういう活動をしていくか、色々考えましたが、自分が最もやっていきたいと思っていること、クラブテーマとして「ロータリー活動を最大限に楽しもう!」ということを掲げさせていただきました。

自分がロータリーに加入して1番楽しかったことが、社会奉仕活動も含め、この東京お茶の水RCの会員の皆様と接点を持って懇親をしていくなかで、関係性が変わっていき、ロータリーの理解が自分自身深まってくという、非常に楽しくもあり、ロータリーに出席をしようという自分の中で原動力になりました。そこを深堀していきたいと思っています。



行動計画としては、会員間相互の親睦強化と地域貢献を中心とした奉仕活動、ということで、前年度のものを引き継いだものではありませんが、よりそこを深堀して活動していきたいと思っております。



従来継続している千代田区という地域に根差した奉仕事業の維持と、2本柱で国際奉仕活動も同じく力を入れて実施していきたいと思っております。

それから会員の皆様がこのロータリー活動を楽しんで活動することで、外部の人が「楽しそうだな」という空気感を感じ取っていただけると、お声がけをしたとき、自然と会員増強に繋がるのではないかなと思っております。それにはまず我々自身もロータリー活動を楽しむために何をしていけばいいのか、というところでいろいろと努力をしていきたいと思っております。

会員の皆様1人1人が充実したクラブライフを送っていただけるよう、引き続き務めていきます。今迄同様、ご支援ご指導のほどよろしくお願い致します。1年間よろしくお願い致します。

中野 広行幹事

幹事に就任する中野広行です。海江田さんは鹿児島のが治木高校の後輩ですが、高校の同窓会で部下として下働きをしております。ちなみに山下さんは高校の大先輩になります。この度、東京お茶の水ロータリークラブでも海江田会長のもと幹事として下働きをいたします。会長共々1年間どうぞよろしくお願い致します。

さて、あらためて中野家の紹介をしたいと思います。本籍は、大隅国帖佐郷です。島津義弘公が朝鮮出兵の帰国後に住んでいた居館跡のお隣さんです。義弘公はその後、加治木に移り住み、現在の加治木高校が終焉の地となります。義弘公の影響の濃い土地で生まれ育ちました。西南戦争において、帖佐郷の一族郎党は、西郷さんに呼応。別府晋介率いる第6大隊に配置され、薩軍の先鋒として熊本に突撃しました。私はその生き残りの末裔になります。中野家のお墓がある帖佐総禅寺墓地に西南戦争の招魂碑と記念碑がありますが、記念碑には勝海舟の書が刻まれています。戦後、彼が西郷さんを偲び田原坂を訪れると聞きつけた帖佐郷の士族たちがそこへ駆けつけ、揮毫してもらったものです。

両親は92歳、母は入院していますが二人とも健在です。家族は妻と息子の三人です。現在大学在学中で、昨年はハワイ大学に交換留学しておりました。中野家が代々仕えた加治木島津家の第十三代当主が島津義秀さんで、現在、義弘公を祀る精矛神社の神主をされています。息子は、5歳から空手を始め黒帯です。中高と野球をやっておりました。現在は早稲田大学書道パフォーマンスサークルに在籍。あちこちから声が掛かり、各地で公演を行っています。来年はJTBによるハワイのジャパンウィークでの公演計画

があるようです。我が家は、呼吸する筆法「円空の書法」という独特の流派に属し、書の修練を行っております。

息子の書です。中3時に、西郷隆盛の五言律詩を全紙に仕上げました。ここにある「耐雪梅花麗」の一句は、元広島カープの黒田投手が座右の銘としたことで有名になりました。高2時は、野球をやりながら全国コンクールで奈良新聞社賞受賞。妻は元々書をやっており、文部科学大臣賞も受賞し、家で書道教室を開いています。私は息子と一緒に始めたため、出遅れましたが、談山神社の大賞も受賞して、ようやく書の指導ができるようになりました。

魂の書である「円空の書法」にご興味ある方は、ぜひご連絡下さい。

グローバルに通用する人間とは、ローカルを究めた人間だと思っています。私は、義弘公以来の土風が色濃く残る土地で、薩摩士族の矜持、質実剛健、そして無私の精神を叩きこまれました。その無私の精神は、ロータリーの超我の奉仕と共鳴します。無私の精神を貫き、東京お茶の水ロータリークラブでの活動を通して、社会のため日本のため精進いたします。ご指導ご鞭撻の程、どうぞよろしくお願い致します。